

2019年5月

科学基礎論学会  
会員各位

科学基礎論学会  
奨励賞選考委員長 古田智久

本学会では、若手研究者育成のため、優れた論文の著者を対象にした奨励賞を設けています。つきましては、2018年度奨励賞の会員による推薦を下記の要領で募集することといたします。推薦は自薦・他薦を問いませんが、2019年8月31日(土)必着で、事務局に郵送もしくはメールにてご提出ください。

#### 【選考要綱】

『科学基礎論研究』、*Annals* いずれかの機関誌に2018年度に発表された論文の著者で、投稿受付時点で45歳未満の会員を対象とする。ただし、選考時点で理事・選考委員である者、並びに、その時点までにそのいずれかを経験している者を除く(次頁「奨励賞選考対象者一覧」参照)。単年度を範囲に1ないし2名を選出する。副賞として10万円を授与(2名の場合は折半)。なお、奨励賞選考委員は理事会が選出する。

#### 【推薦要領】

- (1). 所定の書式(ウェブサイトからダウンロードできます)を用い、郵送もしくはメールで事務局へ2019年8月31日(土)までに送付する。
- (2). 自薦、他薦のいずれでもよい。
- (3). 記名で、会員一人あたり2名まで推薦できる。
- (4). 推薦にあたり400字以内でその理由をつける。

#### 【選考結果】

選考委員会で選考し、理事会で承認する。結果は本人に通知し、学会ウェブサイトで公表する。表彰式(および副賞の授与)は秋の研究例会で行う。

#### 【送付先】

〒108-0023  
東京都港区芝浦2-14-13 MCKビル2F  
笹氣出版印刷株式会社内  
**科学基礎論学会事務局**  
E-mail : kisoron@sasappa.co.jp

以上

2018 年度 奨励賞選考対象者一覧

掲載雑誌	氏名	所属	論文名
『科学基礎論研究』 46 巻 1 号	山田 圭一	千葉大学大学院人文科学 学研究院	言葉の意味の変化をもたらす体験とはどのようなものか—ウイトゲンシュタインの比喩的表現の考察をもとに—
『科学基礎論研究』 46 巻 1 号	石田 知子	慶應義塾大学	遺伝子の運ぶ遺伝情報—目的意味論の観点から—
<i>Annals</i> , vol. 27	高橋 優太	名古屋大学 / 日本学術 振興会	On the Intuitionistic Background of Gentzen's 1935 and 1936 Consistency Proofs and Their Philosophical Aspects
<i>Annals</i> , vol. 27	伊藤 遼	なし	The Origin of the Theory of Types

-----<-----<

科学基礎論学会

2018 年度奨励賞の推薦について (提出は 2019 年 8 月 31 日 (土) 必着)

推薦者氏名 \_\_\_\_\_

被推薦者氏名と論文名 : \_\_\_\_\_

推薦理由 (400 字以内) : \_\_\_\_\_